

10月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
06/10/16 (月)	東京は北朝鮮がらみの報道から円売りが懸念されたものの逆に小じっかり、外準調整が材料視された。欧米は強い米経済指標にも関わらずドル売り優勢。円買いのニュースに反応し易いようだ。	・北朝鮮に対する国連制裁決議を採択(15日) ・10月のNY連銀製造業景気指数22.9	・露中銀第1副総裁「中銀が外準としての円購入を開始した」 ・アルムニア欧州委員「アジア通貨はさらなる柔軟性が必要」 ・SF連銀総裁「米金利水準は適切」	ドル円	ユーロ円	24H
				119.77	149.71	寄付
				119.80	149.72	安値
				119.01	148.97	高値
				119.03	149.18	終値
06/10/17 (火)	東京は前日欧米の流れを継ぎ円買い優勢。尾身発言などもあり円高がさらに進行する展開となった。欧米は円高というよりドル安。発表された対米証券投資が過去最高を記録したにも関わらずドル買われず。	・10月の独ZEW景気指数 27.4 ・9月の米PPIは 1.3%、同鉱工業生産 0.6%、同設備稼働率81.9、8月の対米証券投資1168億ドル、10月のNAHB住宅建設業指数31	・尾身財務相「ロシア外準の円買戻り引上げは歓迎すべきこと」 ・韓国政府当局「北朝鮮が2度目の核実験準備をしている」	ドル円	ユーロ円	24H
				119.09	149.20	寄付
				119.14	149.33	安値
				118.55	148.57	高値
				118.75	148.98	終値
06/10/18 (水)	東京は日経報道もあり円買いでスタート。ただその後は否定発言が相次いだこともあり、買いは続かず。欧米はややドル買い優勢。発表されたFOMC議事録が予想よりもカ派の内容でそれが好感された。	・日銀が金融決定会合議事録公開 ・BOEが金融決定会合議事録公開 ・FOMC議事録要旨公開 ・9月の米CPIは 0.5%、同住宅着工件数177.2万戸、同建設許可件数161.9万戸	・日経新聞「日銀が円キャリートレード調査を強化」その後、当局者から「特別な調査を始めたわけではない」など否定コメント続々	ドル円	ユーロ円	24H
				118.68	148.80	寄付
				119.18	149.15	安値
				118.31	148.55	高値
				118.91	149.03	終値
06/10/19 (木)	東京はドル高値圏での探み合い。日銀総裁コメントなどもサプライズはなく値動きは限定的なもの。欧米は発表された2つの指標がともに悪く嫌気したドル売り先行。ただOPの防戦もあり118円は割れず。	・日銀地域経済報告「すべての地域において景気は拡大または回復傾向」 ・9月の米景気先行指数0.1%、10月のFF連銀指数 0.7	・日銀総裁「消費者物価の前年比プラス基調を続けていく予想」 ・パウエルECB理事「ECBは引き続きインフレを非常に注意深く監視」	ドル円	ユーロ円	24H
				118.91	149.14	寄付
				118.95	149.26	安値
				118.05	148.75	高値
				118.15	149.16	終値
06/10/20 (金)	東京は週末のゴドー日ということでドル小じっかり。ただ需給に抑えられ頭も重い。欧米は北朝鮮に関するニュースや噂を巡り右往左往。しかし最終的には円安値圏で越週へ。	・8月の全産業活動指数0.7% ・第3四半期の英GDP0.7% ・「北朝鮮がこれ以上核実験を行う計画はない、と中国特使に語った」との報道あり、ただしその後否定コメントなど相次ぐ	・グロス独経済相「ドイツの観点からはECBが利上げを急ぐ必要がない」	ドル円	ユーロ円	24H
				118.32	149.43	寄付
				118.80	149.86	安値
				118.13	149.08	高値
				118.72	149.74	終値
06/10/23 (月)	東京は早朝に流れたブルトン発言を受けて円高レベルでスタート。しかし続かず徐々に円安へ。欧米は25日のFOMCを睨みつつドルがしっかり。渡辺財務官発言は完全に無視された格好に。	・独連銀月報「インフレ期待は将来の金融政策の仮定を含む条件付の予想」	・ブルトン仏経財相「円は好ましい方向に動いている」 ・渡辺財務官「円の一段安を予想していない」	ドル円	ユーロ円	24H
				118.60	149.66	寄付
				119.39	149.94	安値
				118.59	149.60	高値
				119.33	149.77	終値
06/10/24 (火)	東京は前日同様に円高レベルでスタートするもシラリ円安へ。一時はオファーをこなしつつ119円後半も。欧米はドルが急落。発表された米経済指標が悪化したうえ、日銀レートチェックの噂などからドル売り優勢。	・北朝鮮が核実験を謝罪したとの一部報道あり、しかし中国が「報道は不正確」と否定 ・10月のリッチモンド連銀製造業指数 2 ・日銀レートチェックの噂が台頭	・尾身財務相「為替はファンダメンタルズを反映した安定推移が重要」 ・米財務長官「人民元の一段の柔軟化を望む」	ドル円	ユーロ円	24H
				119.34	149.75	寄付
				119.66	150.05	安値
				119.08	149.63	高値
				119.37	149.90	終値
06/10/25 (水)	東京はFOMC前のボーションからドル売り優勢。また加スでも償還の円転から円が強含み推移。欧米はドルが続落。発表された独経済指標などが良好ななかFOMC声明の弱気が嫌気された。	・9月の貿易黒字1兆139.7億円 ・10月の独IFO景況指数105.3 ・米FOMCで金利据え置き決定、声明は「経済成長は減速している」などカ派色薄い内容	・独連銀総裁「ECBは07年度も引き続き利上げが必要となる可能性も」	ドル円	ユーロ円	24H
				119.35	149.88	寄付
				119.36	150.17	安値
				118.88	149.58	高値
				119.12	150.12	終値
06/10/26 (木)	東京は前日の流れを継いで円高方向の展開。ただ加スはむしろ逆方向の展開でユーロ/円は150円半ば。欧米は弱めの米経済指標に加えグリーンズパソ発言を嫌気したドル売り優勢。とくに対ユーロでドル一段安。	・11月の独GfK消費者信頼感指数9.2 ・9月の米耐久財受注7.8%、同新規住宅販売5.3%	・尾身財務相「日銀は低金利の維持で景気回復を支持すると期待」 ・ECB総裁「07年のインフレリスクは依然として上向き」 ・前FRB議長「中銀などから資金をユーロに映す動きが一部出ている」	ドル円	ユーロ円	24H
				118.92	150.03	寄付
				118.95	150.47	安値
				118.27	149.94	高値
				118.39	150.27	終値
06/10/27 (金)	東京は早朝発表されて消費者物価の低調から円が安寄り。しかし財務官発言もあり終盤に流れ変わる。欧米は米GDPが低調になったうえテロに関する報道もありドル急落。一時は100P以上値を下げた。	・9月の消費者物価指数0.0% ・第3四半期の米GDP速報値1.6%、同コアPCE価格指数速報値2.3%、10月のシカゴ大消費者信頼感指数確定値93.6	・渡辺財務官「円がこれ以上安くなることはない」 ・一部報道「サウジ」の石油施設にテロ攻撃予告を受けて米国主導の連合軍が海軍を派遣した」 ・米財務長官「強いドルは国益」	ドル円	ユーロ円	24H
				118.68	150.58	寄付
				118.73	150.80	安値
				117.13	149.36	高値
				117.58	149.81	終値
06/10/30 (月)	東京は前週の流れを継いでドルが冴えない。ただ117円台前半では取り敢えずドルも底堅い。欧米は揉み合い。117円半ば以上は頭が重いが下値攻めの機運も乏しく下げ渋りの様相。	・欧米市場が冬時間へ切り替え ・9月の米PCEコアデフレター0.2%	・藤井財務次官「米経済は今後も堅調に推移すると期待している」 ・リッチモンド連銀理事「経済は現在、追加引き締めな持ちこたえだけの十分な回復力を持っている」	ドル円	ユーロ円	24H
				117.54	149.60	寄付
				117.62	149.62	安値
				117.20	149.11	高値
				117.49	149.51	終値
06/10/31 (火)	東京は福井総裁が慎重な姿勢を見せたことなどから若干円安。一時は117円後半も。欧米は山本発言もあり円続落、108	・北朝鮮が6ヶ国協議へ復帰合意 ・10月の米シカゴ購買部協会指数53.5、同消費者信頼感指数105.4、第3四半期雇用コスト指数1.0%	・福井日銀総裁「経済・物価情勢を丹念に点検」 ・山本経済産業副大臣「年度内のデフレ脱却、利上げなければ可能」	ドル円	ユーロ円	24H
				117.63	149.58	寄付
				118.05	149.79	安値
				116.62	148.96	高値

円台でスタート。しかし北朝鮮の報道
や弱い米経済指標で基調反転。

116.97

149.27

終値

* 製作・著作：「FXニュースレター」

URL： <http://www.fx-newsletter.com/>

FX-newsletter